

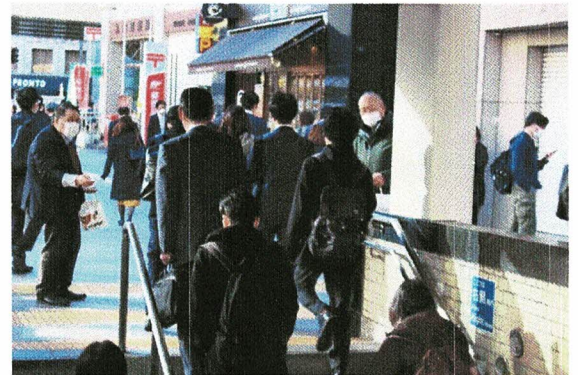
11.16 千代田総行動を実施

大幅賃上げでコロナ禍、物価高騰から、暮らし、雇用、命、平和を守り22年秋年末闘争勝利、争議解決を掲げて

区内5駅頭で早朝宣伝

11月16日、千代田区春闘共闘は、朝から、「大幅賃上げでコロナ禍、物価高騰から暮らし、雇用、命、平和を守り22年秋年末闘争勝利、争議解決をめざす」ことを掲げて千代田総行動を実施しました。

朝8時から総行動チラシ（別添）を神田駅、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅の区内5駅頭で17人の参加で合計1530枚を配布しました。総行動チラシの裏面は、JAL争議の解決を訴える内容でした。虎ノ門駅では、JAL争議団のメンバーも参加して配布しました。



朝8時から九段下駅での宣伝

物価高騰の中、年金増額求めて厚労省要請

午前11時からは、厚労省に対し、オンラインで、区労協事務所から年金問題で要請を行いました。



厚労省に年金問題でオンライン要請

冒頭、茂呂千代田区春闘共闘議長から、「①現行の年金額改定ルールを見直し、年金額改定は『物価変動率』に基づき改定すること、②年金額引き下げのしくみ『マクロ経済スライド』は廃止すること」を求めました。物価が高騰しており、年金生活者の生活が大変苦しくなっている状況を政府として考慮することを強く訴えました。

年金者組合の田端さんからは、要請項目に沿い、かつ物価高騰中での年金生活者の実態を踏まえ、年金額を早急に増額するよう求めました。特に、特例として年金額を増やすよう強く要請しました。

これに対し、厚労省は、「平成16年に世代間のバランスを取った改正を行っている。年金の増額は、法改正しないとできない。また、年金制度は、長いスパンを考えているので、急に給付水準を増やすのは難しい。」と物価高騰による年金制度への対応は難しいとのことでした。

「世代間のバランスを崩さずに、国庫負担を増やして、国が対応できないか、以前の物価高騰時には、国は対応している、改めて対応してほしい」と強く求めて要請を終わりました。

晴天に恵まれた神保町 物価高騰上回る賃上げ等掲げ昼休みデモ

正午を過ぎると駿河台下、明治大学近くの錦華公園には、昼休みデモに参加する労働者が近くの職場から旗をもって集まりました。晴天に恵まれ、11月としては、汗ばむ陽気になりました。

12時10分から、デモに当たっての意思統一を行いました。この神保町昼休みデモは、MIC（日本マスコミ文化情報労組会議）と千代田区春闘共闘が主催し、毎年、秋と春闘時期の年3回は必ず行っている、伝統のあるデモとなっています。

挨拶は、MIC 議長の石川（新聞労連出身）さんと千代田区春闘共闘議長の茂呂さんが行い、「コロナ禍、物価高騰から労働者の生活を守るために、賃上げ、冬の一時金増額を勝ち取ろう、そのことをデモ行進でアピールしよう」と訴えました。

12時20分にデモに出発。靖国通りを経て、九段下の俎橋（まないたばし）までを60名以上が行進しました。

当日は、東京の新型コロナが再び増加したため、シュプレヒコールは控え、要求プラカードを掲げ行進しました。宣伝カーからは、出版労連の関口さんがナレーションで「戦争反対の声をあげよう、軍事費増反対、働く人たちなどへの負担増止めて、コロナ禍と物価上昇から働く人たちの暮らしを守る月例給・一時金引き上げが必要、好きなだけ本を読める「経済的ゆとり」「時間的ゆとり」をとり戻し、神保町の街を活性化しよう、消費税増税へ繋がるインボイス制度実施に反対しよう、労働者を守るための労働法制改悪反対、JAL 争議の早期解決を」と訴えました。



靖国通りを行進する神保町昼休みデモ



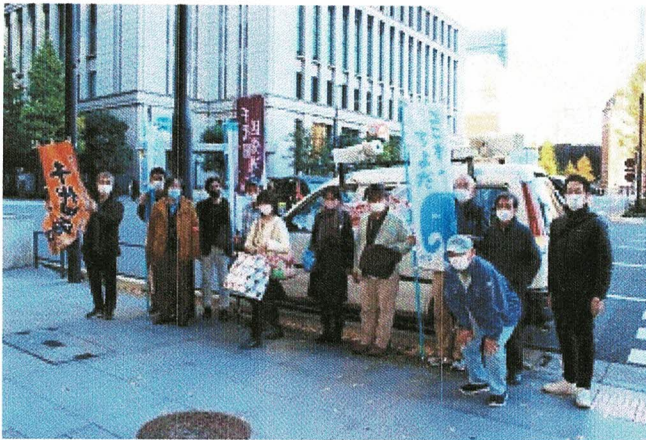
コロナ禍でシュプレヒコール自粛
プラカードに要求掲げて行進する組合員

働く人たちなどへの負担増止めて、コロナ禍と物価上昇から働く人たちの暮らしを守る月例給・一時金引き上げが必要、好きなだけ本を読める「経済的ゆとり」「時間的ゆとり」をとり戻し、神保町の街を活性化しよう、消費税増税へ繋がるインボイス制度実施に反対しよう、労働者を守るための労働法制改悪反対、JAL 争議の早期解決を」と訴えました。

AGC に社前抗議・要請行動

解雇撤回と男女差別是正を求めて

14時からは、東京駅そばの新丸ビルにある AGC に抗議・要請を行いました。AGC に対して、入社10年目で突然解雇された女性の解雇撤回、そして、AGC 子会社グリーンテック（株）での男女差別問題（社宅等）の解消を求めて要請を行いました。（次ページへ）



AGCに解雇撤回、男女差別解消を訴える

AGC 社前では、宣伝カーを横付けし、旗を立て、解決を求めて抗議行動を行いました。解雇された本人の M さんは、マイクをにぎり、「入社して 10 年目の突然の解雇には納得がいかない」と怒りを込めた渾身の訴えを行いました。

本人も含めて AGC への要請を行いました。団体交渉を行っているため、要請には応じられないとして、1 階受付での要請書受け取りに留まりました。

AGC に対する解雇撤回や男女差別解消に向けて、引き続き、頑張ろうと訴えて、抗議・要請を終わりました。

消費税減税は一番の物価高騰対策

15 時から、JR お茶の水駅に場所を移して、消費税減税の宣伝行動を行いました。また、改憲反対の訴えも行いました。

「あらゆる業種がインボイス制度の対象となり増税となるため、農家やフリーランス、シルバー人材センターや文化芸術など様々な業界団体が反対の声を上げている。今、消費税減税・インボイス中止を求める声が大きくなっている。市民すべてを苦しめている物価高に対応するためには、消費そのものへの支援策である消費税減税が最も効果的です。」と訴えました。

「岸田政権になり、維新などの改憲勢力が加わり、また、ロシアのウクライナ侵略を口実に大軍拡、9 条改憲が進められようとする重大な情勢になっている、戦争させないために 9 条を守り、国会で改憲発議をさせないようにしよう。」と訴えました。

秋の千代田総行動は、総括会議を行い、引き続き、闘いでがんばることを確認し終了しました。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)



* 別添で総行動チラシと JAL 争議の訴え、「JAL 争議の早期全面解決をめざす 12.8 総決起集会」の案内もありますので、ご参照ください。

* 千代田区労協通信バックナンバー / http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm

※ 皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。